

一般社団法人日本専門医機構理事長 様

大阪府健康医療部長

専門研修におけるシーリングの一時中断等について（要望）

大阪府の健康医療行政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

医師の専門研修について、下記のとおり要望しますので、大阪府の地域の事情に格別のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

(1) 新型コロナウイルス感染症対応について

国から新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言が発令され、大阪府は対象地域に含まれており、新型コロナウイルス感染症に対応する医師の確保が喫緊の課題となっています。

新型コロナウイルス感染症対策により高度な医療需要が急増していることから、当面の間、シーリングを中断し、こうした健康危機管理を考慮してシーリングの見直しをご検討ください。

(2) 地域貢献率について

令和2年3月13日の専門研修部会において示されましたが、地域貢献率の基準を満たさずに連携プログラム枠でも採用した領域があると聞いています。令和2年度採用結果に関する各都道府県及び各診療科の地域貢献率とあわせて各地域貢献率の算定方法を公表してください。

また、地域貢献率の基準を20%とする明確な根拠を示してください。

仮にシーリングを実施する場合でも次の事項を要望します。

- 日本専門医機構が開発中のプログラムの管理システムによる追跡が可能となるまでは、各学会が認めた募集定員に対する地域貢献率とすること。また、採用数については、地域医療対策協議会において実現可能な地域貢献率の目標値を設定することを可能とするなど、個別対応を認めること。
- 日本専門医機構からの合理的な根拠が示されない中での運用により削減された過去のシーリング分は、復元すること。
- 専門研修は、多くの症例を経験できる医療機関にて、指導医のもとで充実した研修が行われるべきであり、本制度を地方の医師不足の解消や地域偏在対策として用いることは不適切であり、また、合理的根拠が示されていないシーリングの実施そのものを再考いただきたい。

大阪府 健康医療部 保健医療室 医療対策課
医療人材確保グループ

TEL : 06-6944-6692

FAX : 06-6944-7546

iryotaisaku-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp